

# 東海第2原発廃炉を ひたちなか4・1大集会に3000人



「原発ノー」と叫びながら、風船を飛ばす参加者—ひたちなか市佐和の笠松運動公園で

日本原子力発電東海第2原子力発電所の廃炉を目指し、ひたちなか市佐和の笠松運動公園で1日、「さよなら原発4・1大集会in茨城」が開催された。約3000人が参加し、東海第2原発の再稼働をやめろと訴えた。

## アピール採択パレード

東海第2原発の再稼働を止めろと訴えるパレードが、茨城県内各地で行われた。参加者は、原発を止めろと叫びながら、風船を飛ばし、プラカードを掲げた。また、北茨城市内でも、原発を止めろと訴えるパレードが行われた。

賠償無料法律・税務相談も行われた。集会では、呼びかけ人代表の田村武夫・茨城大名富教授が、「一回りも二回りも声を大きくして、再稼働は嫌と知事が言うように追い詰めていきましょう」とあいさつ。県議が東海第2原発の廃炉を訴えたほか、福島県浪江町の馬場有町長や東海村の村上達也村長のメッセージなどが読み上げられた。

【松公健太】



里のギャラリー 197

さきほど若いお母さんが「地元の物を食べさせていいのか迷ってしまう」と話していました。気持ちわかります。そんな心配をされるような農産物を私たちは栽培せざるをえなくされてしまった。いままで無農薬ではいつくばってきたのに、です。どんな賠償を請求したらいいのか。北茨城市では、直売農家のための請求窓口は設けないそうです。風評被害をを広げかねないというのです。ある養豚農家との交渉の席で、東電職員が「茨城県も福島県のように毅然とした態度を示してくれば私どもも本社に訴えやすい」なんて言っていました。行政が、犯人に舐められているのです。

さらに、たとえば「東京にいる孫に遊びに来るなと伝えた」という祖父母のさびしさ。いっぽうで「けど近くには小さな子だって暮らしている」という心苦しさ。そうしたつらい気持ちだって放射能の被害です。ぜんぶ賠償させましょう。

「経済のために原発は必要だ」と言う人がいます。だったら、原発が社会に与えている被害すべてを積み上げて、原発は不経済だと思い知らせてやりましょう。

※インターネットに動画も。  
<http://goo.gl/qsJVG>

## 行政が犯人に舐められている

上の記事は「さよなら原発4.1大集会in茨城」を報じる毎日新聞から。実行委員会から、リレートークで農家としての発言を打診されました。「30分くらいもらえるなら受けるけど」とやんわり断ったつもりだったけど、直前に完成したプログラムをみて「あれ、俺やることになってる!?!」3分といわれてたのに、8分半もしゃべっちゃったその大要です。

福島県いわき市の隣で有機農業をやってきて、昨年度などは国のお墨付き補助金をもらいました。10数年前からインターネットでの直売もやってきましたが、3.11から注文はピタッと止まってしまいました。農協への

出荷はしてこなかったのが、被害は甚大です。

犯人はハッキリしています。加害者は「どんな被害を与えているでしょうか。こういう賠償で許していただけるでしょうか」と一軒一軒まわる